

Ⅲ 結果の活用に向けて

Ⅲ 結果の活用
に向けて

1 地域別の傾向

1 地域別の傾向

(1) 葛南地区

教科についての傾向と課題

* 例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。

○正答率が全国と比べて低いもの

○正答率そのものが低いもの

* [] 内の学年は、学習学年を示している。

小学校・国語

「自分の考えをまとめること」に今年度も課題が見られる。領域では「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が引き続き低下している。

- ・国語¹四 (1) 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 [5、6年]
- ・国語²二 「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」 [5、6年]
- ・国語³三 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」 [5、6年]
- ・国語³四 「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」 [3、4年]

中学校・国語

「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと」に今年度も課題が見られる。領域では、昨年度と比較し、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事柄」に改善傾向が見られる。

- ・国語¹四 「封筒の書き方を理解して書く」 [1年]
- ・国語²二 「相手にわかりやすく伝わる表現について理解する」 [1年]
- ・国語²三 「話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」 [1年]
- ・国語³二 「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」 [1年]

小学校・算数

「量と測定」領域は改善傾向が見られる。問題形式では、今年度も記述式に課題が見られる。

- ・算数¹ (3) 「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて記述できる」 [5年]
- ・算数² (3) 「二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述できる」 [3、5年]
- ・算数³ (2) 「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述できる」 [3、4年]
- ・算数³ (4) 「示された除法の式の意味を理解している」 [3、5年]

中学校・数学

「数学的な表現を用いて説明すること」に課題が見られる。また、領域では、「関数」及び「資料の活用」に課題が見られる。

- ・数学⁴ 「関数を用いて事象を捉え考察する場面において、事象に即して解釈したことを数学的に表現したり、反比例の表から、 x と y の関係を式で表したりすることができる」 [1年]
- ・数学⁶ (1) 「グラフの点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる」 [2年]
- ・数学⁶ (2) 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」 [2年]
- ・数学⁸ (2) 「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」 [1年]

中学校・英語

理解した内容を踏まえ、目的・場面・状況に応じて、話し手や書き手の伝えたいことは何かを理解するなど、概要や要点をとらえることに課題が見られる。

- ・英語⁴ 「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる」 [聞くこと]
- ・英語⁸ 「書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる」 [読むこと]
- ・英語⁹ (2) ② 「一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる」 [書くこと]
- ・英語¹⁰ 「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文書を書くことができる」 [書くこと]

課題が見られた設問の例

小学校 国語 [5・6年] 【3三】

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかの設問に対して、無解答率が高かった。意図を捉えながら自らの考えと比較し、まとめる学習の積み重ねが必要である。

特
に
●

③ 三 岸さんは、インタビュアの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。『インタビュアの様子』のイに入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

《条件》

- 『インタビュの様子』の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビュアとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

中学校 国語 [1年] 【2三】

引き続き、話し合いの話題や方向性を捉えて自分の考えを持つ設問に対しての無解答率が高い。条件に沿って、根拠を明確にしながら自分の考えを持つことができるようになる力を育むことが重要である。

② 三 場面③のAで山下さんは、「どうするか決まっていな
いこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたな
ら、どのような考えを述べますか。次の条件1・条件2にしたが
って、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、一本線で消したり行
間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていな
いこと」とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていな
いこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

小学校 算数 [3・4年] 【3 (2)】

③ (2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の「 」の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って、書きましょう。

わり算では、

※解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

※解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

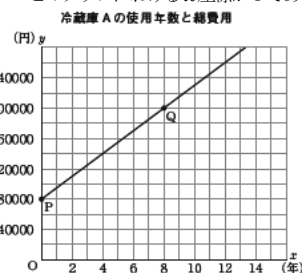
このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

「商は変わらない」と記述すべきところを「差はかわらない」としている児童が多かった。計算に関して成り立つ性質を見だし、算数の用語を用いて、最後まで適切に表現することができると指導することが重要である。また、商が同じになるいくつかの除法の式を基に、除法に関して成り立つ性質を見だす活動など実感的に理解させる指導も大切である。

中学校 数学 [2年] 【6 (1)】

6 (1) 冷蔵庫Aを購入して x 年間使用するときの総費用を y 円とします。この x と y の関係を、健太さんは次のような一次関数のグラフにしました。

このグラフにおける x 座標が0である点をP、 x 座標が8である点をQとします。点Pの y 座標と点Qの y 座標の差は、冷蔵庫Aについての何を表していますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア 本体価格
イ 使用年数
ウ 1年間あたりの電気代
エ 購入してから8年間の電気代
オ 購入して8年間使用するときの
総費用

オを選んだ生徒が多かった。数学的に表現したことを事象に即して解釈することができるように指導することが大切である。具体的には、表で与えられた情報を基に、関係をグラフに表し、グラフを事象に即して解釈する活動を取り入れることが考えられる。

中学校 英語 [聞くこと] 【4】

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に答えなさい。

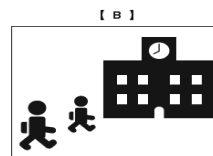
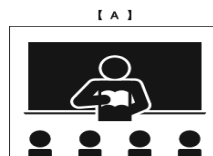
(スクリプト)

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

内容は聞き取れていても、求められている答えを適切に表現できない。即興性のある対話や、聞く活動を話す活動や書く活動につなげる統合的な活動を取り入れ、表現力を身に付けさせていくことが必要である。

中学校 英語 [書くこと] 【10】

10 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいウェブサイトで意見を募集しています。どどちらの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに250以上の英語で書きなさい。



※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (、や ? など) は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

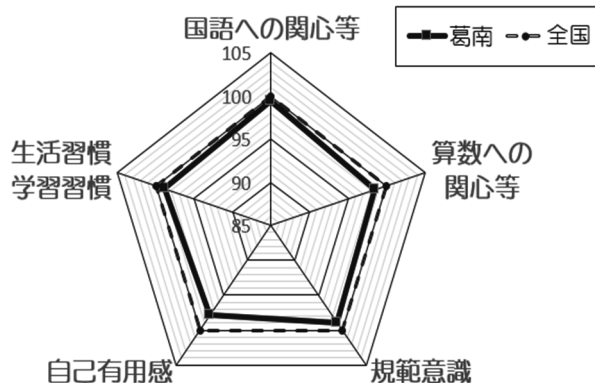
問題の指示や条件を満たしていても、語や文法事項等の知識が身に付いていないため正しく書けていない。書く活動や技能統合的な活動を行い、書く機会を増やし、表現力を豊かにすることが大切である。

生活習慣や学習環境等について

*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

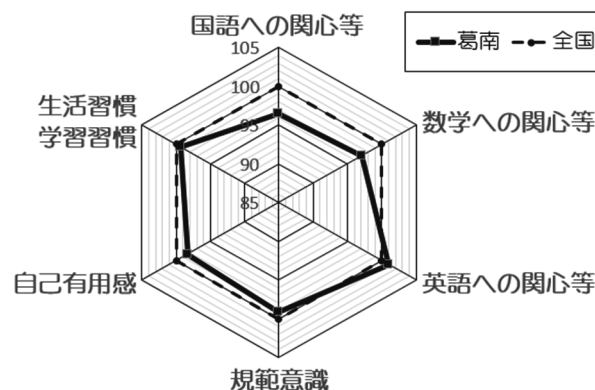
児童質問紙から

平成31年度



生徒質問紙から

平成31年度

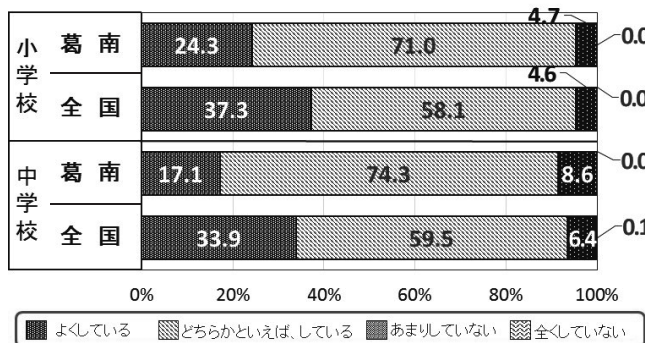


「自己有用感」については、児童生徒とも全国と比べて低い傾向にある。児童生徒の良い点や可能性、進歩の状況について積極的に評価する必要がある。また、児童質問紙に比べて生徒質問紙では各教科への関心が低い傾向にある。生徒の意欲を喚起できるような授業改善が求められる。

学校質問紙から 『指導改善サイクルの確立を目指して』

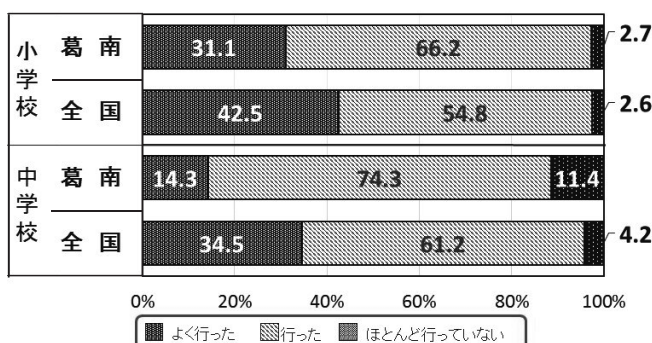
小17
中17

児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



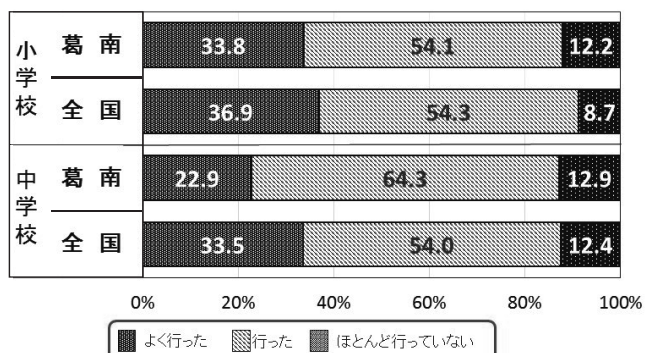
小63
中79

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



小64
中80

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)



- ・【小17中17】では、全国に比べ小・中学校ともに「よくしている」と回答した割合が低い。
- ・【小63中79】では、小学校では肯定的な回答の割合は全国平均並みだが、中学校では、全国平均を下回っている。また、「よく行った」と回答している学校が全国平均の半分にも達していない。
- ・【小64中80】では、「よく行った」と回答した割合が、小・中学校共に全国平均より低く、その差は中学校の方が大きい。

(2) 東葛飾地区

教科についての傾向と課題

* 例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。

○正答率が全国と比べて低いもの

○正答率そのものが低いもの

* [] 内の学年は、学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」や「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題が見られる。

- ・国語¹一 「図表やグラフなどを用いた目的を捉える」 [5、6年]
- ・国語¹三 「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」 [5、6年]
- ・国語¹四 (1) ア「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 [5、6年]
- ・国語³二 「目的に応じて、質問を工夫する」 [5、6年]
- ・国語³三 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」 [5、6年]
- ・国語³四 「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」 [3、4年]

中学校・国語

「読むこと」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。

- ・国語¹一 「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」 [2年]
- ・国語¹四 「封筒の書き方を理解して書く」 [1年]
- ・国語²三 「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」 [1年]

小学校・算数

第3学年、第4学年の「数と計算」領域や第4学年の「数量関係」領域に課題が見られる。

- ・算数¹ (1) 「台形について理解している」 [4年]
- ・算数² (4) 「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」 [4年]
- ・算数³ (1) 「示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる」 [3年]
- ・算数³ (2) 「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」 [3、4年]
- ・算数³ (3) 「示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる」 [4年]
- ・算数⁴ (3) 「場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる」 [5年]

中学校・数学

「図形」領域に改善傾向が見られるが、「関数」領域は引き続き課題が見られる。

- ・数学⁶ (1) 「グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる」 [2年]
- ・数学⁶ (2) 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」 [2年]
- ・数学⁷ (1) 「証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している」 [2年]
- ・数学⁸ (2) 「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」 [1年]
- ・数学⁸ (3) 「問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる」 [1年]
- ・数学⁹ (1) 「与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる」 [2年]

中学校・英語

聞き取ったり、読み取ったりすることは概ねできているが、把握した内容を踏まえ、目的・場面・状況に応じて、話し手や書き手の伝えたいことは何かを理解するなど、概要や要点を捉えることに課題がある。

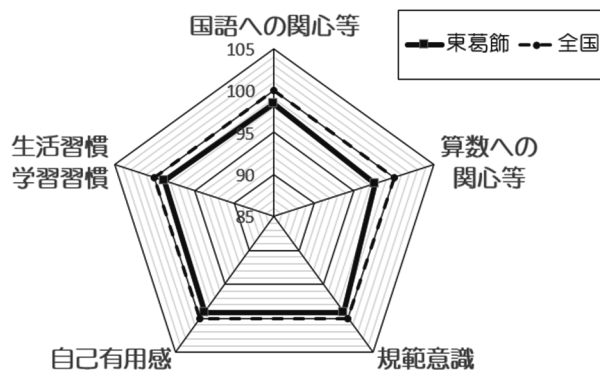
- ・英語⁴ 「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる」 [聞くこと]
- ・英語⁸ 「書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる」 [読むこと]
- ・英語⁹ (3) ②「与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる」 [書くこと]
- ・英語¹⁰ 「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文書を書くことができる」 [書くこと]

生活習慣や学習環境等について

*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

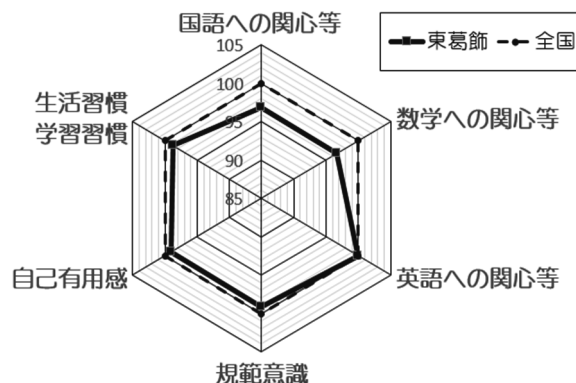
児童質問紙から

平成31年度



生徒質問紙から

平成31年度

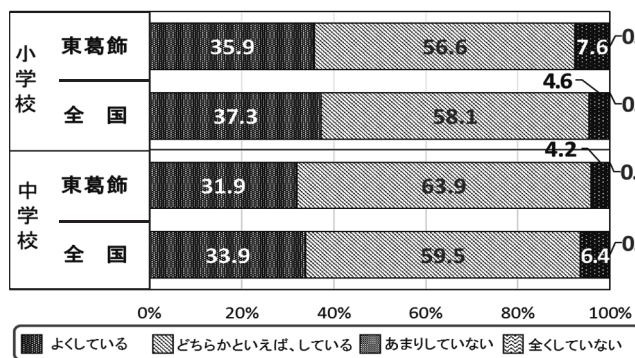


児童質問紙、生徒質問紙ともに、一部を除き全国と比べて全体的に低い傾向にある。小学校では国語への関心と算数への関心が低い。中学校では英語への関心は高いが、小学校同様、国語への関心と数学への関心が低い。児童・生徒の興味・関心を高める指導の工夫が求められる。

学校質問紙から 『指導改善サイクルの確立を目指して』

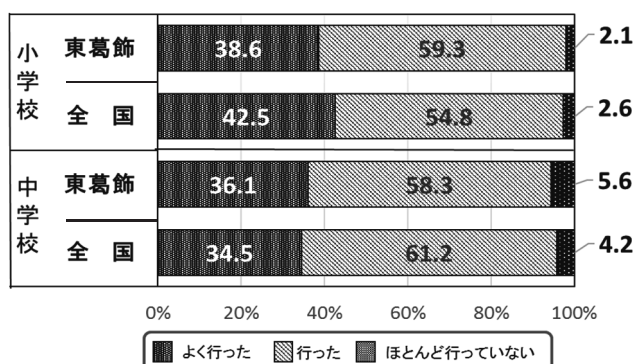
小17
中17

児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



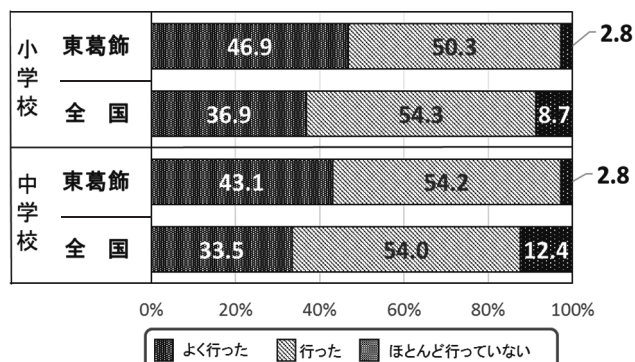
小63
中79

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



小64
中80

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)



- ・【小64・中80】から全国平均に比べ、各学校が、調査の自校の結果について、保護者や地域に対して積極的に公表や説明を行っていることが分かる。
- ・しかし、【小17・中17】と【小63】では、「よくしている」と「よく行った」の回答が全国の平均に比べて低い。今後は、調査の結果を学校全体で検証して共有し、教育課程の編成や教育活動を改善するために活用することが課題となっている。

(3) 北 総 地 区

* 例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。

○正答率が全国と比べて低いもの

○正答率そのものが低いもの

* [] 内の学年は、学習学年を示している。

教科についての傾向と課題

小学校・国語

「言語についての知識・理解・技能」については全国と比べても遜色ないものの、「話す・聞く能力」に課題がある。必要な情報を得る際には、情報をどのように活用するのか、必要とする情報は何か、そのためには誰に何を聞けばよいのか十分に検討し、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えと比較・関係付けることができるよう指導する必要がある。

- ・国語¹二 「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える」 [5、6年]
- ・国語¹四 (1) ア 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 [5、6年]
- ・国語³二 「目的に応じて、質問を工夫する」 [5、6年]
- ・国語³三 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」 [5、6年]

中学校・国語

「話す・聞く能力」に次いで「書く能力」に課題がみられる。特に記述式の問題を苦手とする傾向がある。目的や意図に応じて相手に分かりやすい文章を書く力を身に付けるために、相手意識を明確にすることや根拠を明確にすること、効果的な文章の構成や展開、表現等、言葉による見方・考え方を働かせて書くことを指導する必要がある。

- ・国語¹一 「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」 [2年]
- ・国語²二 「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する」 [1年]
- ・国語²三 「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」 [1年]
- ・国語³二 「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」 [1年]

小学校・算数

「数と計算」と「量と測定」の領域に課題がみられる。特に記述式の問題を苦手としているが、基礎的な内容にも課題がある。適用問題に繰り返し取り組むことで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。また、解き方を説明する活動等を多く取り入れることで、思考し、表現する力を育む必要がある。

- ・算数²(4) 「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」 [4年]
- ・算数³(2) 「示された計算の仕方を解釈し、減法を基に、除法で成り立つ性質を記述できる」 [3、4年]
- ・算数³(4) 「示された除法の式の意味を理解している」 [3、5年]
- ・算数⁴(3) 「状況から、単位量当たりの大きさを基に求め方と答えを記述し、結果を基に判断できる」 [5年]

中学校・数学

全領域で前年度より低下し、特に「関数」領域に課題がみられる。また、短答式、記述式の問題を苦手とする傾向がある。知識及び技能を問う問題で差が大きいため、適用問題等を通して基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ると共に、問題解決場面で活用し、思考・表現する中で、生きて働くものとなるようにする必要がある。また、解決方法や理由等を数学的に説明する場面を適切に設ける必要がある。

- ・数学⁴ 「反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる」 [1年]
- ・数学⁶(2) 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」 [2年]
- ・数学⁸(1) 「資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる」 [1年]
- ・数学⁸(2) 「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」 [1年]

中学校・英語

「書くこと」の領域に課題がみられる。伝えたい内容を正確に書くことができるように、コミュニケーションの目的・場面・状況を明確にした言語活動を通して文法事項の定着を図る必要がある。

- ・英語⁵(2) 「日常的な話題について、簡単な文で書かれたものを正確に読み取ることができる」 [読むこと]
- ・英語⁹(2) ② 「一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる」 [書くこと]
- ・英語⁹(3) ①② 「与えられた情報から、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる」 [書くこと]
- ・英語⁹(3) ③ 「与えられた情報から、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる」 [書くこと]

課題が見られた設問の例

小学校 国語 [5年・6年] 【3】(三)

③ 岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた量職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報誌の記事」を直接聞いてみたいこと、「インタビュウの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

〔広報誌の記事〕
〔直接聞いてみたいこと〕 (問題用紙参照)
〔インタビュウの様子〕

三 岸さんは、インタビュウの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。〔インタビュウの様子〕の「イ」に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

○ (インタビュウの様子) の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
○ インタビュウとして、ふさわしい言葉づかいにすること。
○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

無解答の児童が多い。話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめるために、インタビュウの成果を生かす場の設定をし、インタビュウの目的や自分に必要な情報は何かを確認した上で、必然性を感じながら対話することが大切である。

中学校 国語 [1年] 【2】(三)

② 第一中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とつながりを大切にした文化祭をするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んだ場面です。

〔話し合いの一部〕 (問題用紙参照)

三 場面③の「A」で山下さんは、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを述べようとしています。あなただけで、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」とは何かを明確にして書くこと。
条件2 条件1で示した「どうするか決まっていないうこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

話し合いの目的や方向を適切に捉えることができていない解答が多い。このことを解消して、自分の考えをもつことができるようにするため、司会の進め方や発言の仕方など確認した上で、話し合いを行う。そして、話し合いの過程を文字化する等可視化し、振り返る活動を行うことが大切である。

小学校 算数 [3・4年] 【2】(4)・【3】(2)

- ㉔ (4) $6 + 0.5 \times 2 = \text{㉔}$
- ㉔に入る数を書きましよう。
- ㉔ (2) ひき算について【ゆいなさんがまとめたこと】(問題用紙参照)と同様に、わり算についても【ことなさんの計算の仕方】(問題用紙参照)をもとにまとめると、どのようになりますか。「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましよう。

計算の順序についてのきまりを確実に理解できるようにする。そのため、具体的な場面と関連付けながら確実に理解できるようにすること、また、四則を混合させたり()を用いたりして一つの式に表すことができるようにすることが大切である。

示された計算の仕方を解釈し、減法を基に統合的・発展的に考え、除法に関して成り立つ性質を、算数用語で表現することができるようにする。そのため、商が同じになる幾つかの除法の式を基に、除法に関して成り立つ性質を見だし、一般的に表現する活動を取り入れること、また、小数や分数の除法でも活用されていることが大切である。

中学校 数学 [1年] 【4】・【8】(1)

- ㉔ 下の表は、 y が x に反比例する関係を表したものです。 y を x の式で表しなさい。
- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|----|----|---|----|----|----|-----|
| x | ... | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | ... |
| y | ... | 2 | 3 | 6 | × | -6 | -3 | -2 | ... |
- ㉔ (1) 図書委員会で実施したアンケートをもとに、最近1か月間に読んだ本の冊数について、下のような表にまとめました。読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	13	114	74	30	11	7	4	4	3	4	6	270

反比例の表から変化や対応の特徴を捉え、関係を式で表すことができるようにする。そのため、表、式、グラフを関連付ける活動や具体的な事象について関数の視点から考察する場面を設定し、関係を数学的に表すことが大切である。

代表値の必要性和意味を理解し、代表値を求めることができるようにする。そのため、目的に応じてデータを収集して整理し、資料の傾向を読み取る活動や、説明する場面を設定し、数学的な結果に基づき判断したり批判的に考察したりすることが大切である。

中学校 英語 [書くこと] 【9】(3)

- ㉔ (3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

誤答の多くは、問題の指示文を正しく理解できていないか、動詞の欠落や3人称単数現在形など基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことができていないと考えられるものである。

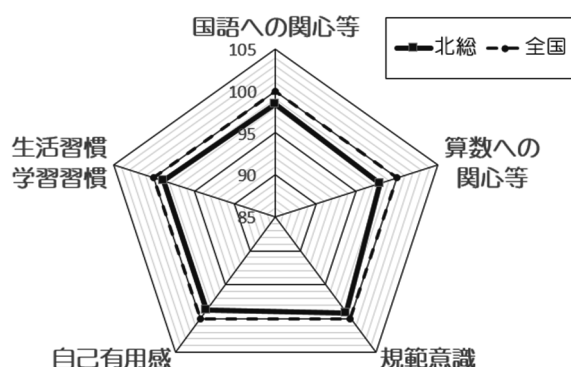
与えられた情報に基づいて3人称単数現在の文を正確に書くことができるようにするため、様々な場面で3人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして繰り返し活動することが大切である。

生活習慣や学習環境等について

*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

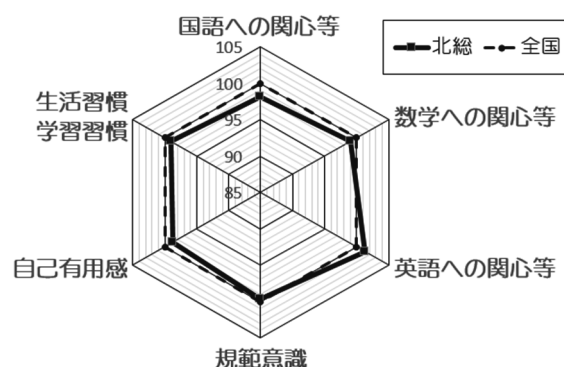
児童質問紙から

平成31年度



生徒質問紙から

平成31年度

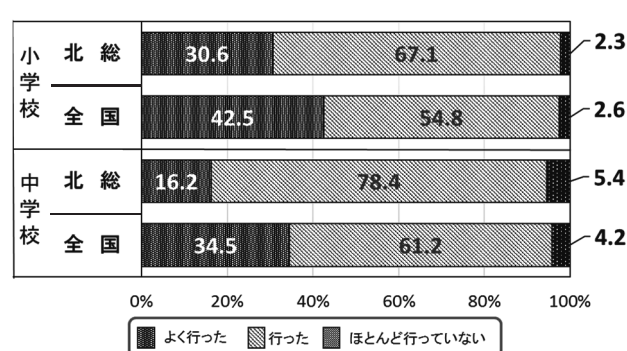
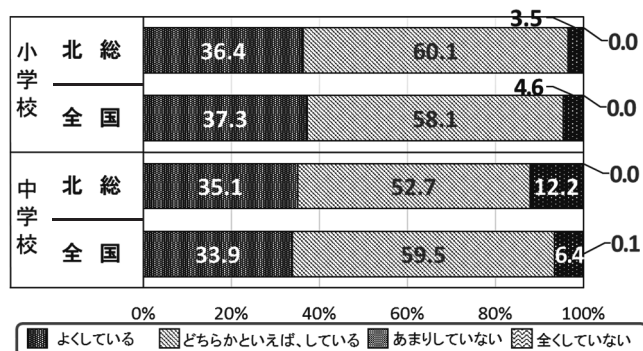


「英語への関心等」については、全国と比べてやや高い傾向にあるが、「国語への関心等」「算数・数学への関心等」については、児童生徒とも全国と比べてやや低い傾向にある。また、児童生徒ともに、昨年度から多少の改善は見られるが、「自己有用感」「学習習慣・生活習慣」が全国と比べてやや低い傾向にある。問いを工夫し、実生活と関連させながら、生徒指導の機能を生かしたわかる授業を展開することで、授業への関心や自己有用感を高めていくことが必要である。

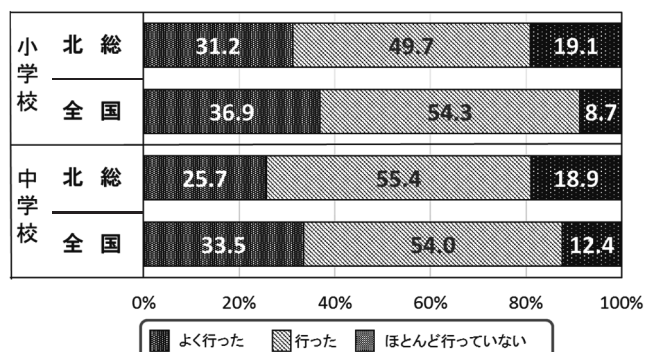
学校質問紙から 『指導改善サイクルの確立を目指して』

小17 中17	児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
------------	---

小63 中79	平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
------------	--



小64 中80	平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)
------------	---



- ・【小17・中17】では、中学校ではPDCAサイクルの確立を「あまりしていない」割合が全国に比べて高い。生徒の実態分析をもとにした実践・評価・改善を全職員で行い、共通理解を図りながらPDCAサイクルの視点で授業実践する必要がある。
- ・【小63・中79】では、教育活動の改善のための活用を「よく行った」という割合が小中学校とも全国に比べて低い。校内に学力検証委員会を設置する等して、結果を分析し、課題に取り組む校内体制の構築を図る必要がある。
- ・【小64・中80】では、結果について公表や説明を「ほとんど行っていない」割合が全国に比べて高い。管理職のリーダーシップのもと、結果の公表や説明を保護者や地域の人たちに積極的に行い、地域とともに学ぶ学校体制の構築を図る必要がある。

(4) 東上総地区

* 例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。

○正答率が全国と比べて低いもの

○正答率そのものが低いもの

* [] 内の学年は、学習学年を示している。

教科についての傾向と課題

小学校・国語

昨年度に引き続き、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域ともに、目的や意図に応じて表現の工夫を捉えたり、効果的に表現したりすることに課題が見られる。

- ・国語¹二 「文章の書き方の工夫として適切なものを選択する」 [5、6年]
- ・国語¹三 「条件に合わせて、自分の考えの理由を明確にして記述する」 [5、6年]
- ・国語¹四 (1) ア「漢字を書く(調査のたいしょう)」 [5・6年 「象」は4年の配当漢字]
- ・国語³二 「インタビューにおける、質問の工夫として適切なものを選択する」 [5、6年]

中学校・国語

昨年度に引き続き、文章の内容や書き手・話し手の意図を捉えたり、目的や意図に応じて根拠を明確にして、自分の考えを表現したりすることに課題が見られる。

- ・国語¹一 「文章の構成や展開、表現等とその効果について説明したものとして適切なものを選択する」 [2年]
- ・国語¹二 「文章で述べられている弁当の魅力として適切なものを選択する」 [1年]
- ・国語²一 「話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する」 [1年]
- ・国語²三 「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」 [1年]
- ・国語³二 「グラフの情報をを用いて、意見文の下書きに具体例を書き加える」 [1年]

小学校・算数

「図形」領域が前年度よりも上昇している。「数と計算」、「数量関係」の領域では、四則の混合した整数と小数の計算の内容に課題が見られる。

- ・算数²(3) 「二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く」 [3、5年]
- ・算数²(4) 「洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する」 [4年]
- ・算数³(1) 「 $350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く」 [3年]
- ・算数³(2) 「減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなのかを書く」 [3、4年]

中学校・数学

全ての領域、観点、問題形式で、全国に比べ低い状況である。とくに「関数」の領域に課題が見られる。昨年度に引き続き「記述式」の問題形式にも課題が見られる。

- ・数学⁴ 「反比例の表から x と y の関係を式で表す」 [1年]
- ・数学⁶(1) 「冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフ上の点Pの y 座標と、点Qの y 座標の差が表すものを選ぶ」 [2年]
- ・数学⁶(2) 「冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる、およその使用年数を求める方法を説明する」 [2年]
- ・数学⁸(2) 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する」 [1年]

中学校・英語

全ての領域、観点、問題形式で、全国に比べ低く、とくに「記述式」の問題形式に課題が見られる。

- ・英語⁷ 「チンパンジーに関する説明文を読み、スミス先生との会話文中の空欄に入る文を選ぶ」 [読むこと]
- ・英語⁹(3) ②「与えられた情報(住んでいる都市)に基づいて、ある女性を説明する英文を書く」 [書くこと]
- ・英語⁹(3) ③「与えられた情報(ペットの有無)に基づいて、ある女性を説明する英文を書く」 [書くこと]
- ・英語¹⁰ 「学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに25語以上の英語で意見を書く」 [書くこと]

課題が見られた設問の例

小学校 国語 [5・6年] 【3】二

③「インタビューの様子」の「……」で、岸さんは、――部のようにつくふうして質問をしています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 相手の思いをさらに引き出すために、相手がくり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。
- 相手に質問をする理由を理解してもらえらるよう、インタビューの目的を伝えてから質問をしている。
- 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえても一度質問があつたため、その相手の話の中に分らない言葉があつたため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。
- 1または2を選んだ児童が多く、相手の状況を捉えることができていなかったことが考えられる。インタビューの際、話の内容や話し手の意図を踏まえて聞き取るとともに、話の展開に沿って、目的に応じた質問をするように指導することが大切である。

中学校 国語 [1年] 【2】三

②場面③の「A」で山下さんは、「どうするか決まっていけないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていけないこと」とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていけないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

課題の解決に向けた自分なりの考えを持つことに課題がある。話し合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導すること。その際、必要に応じて話し合いの話題について確認したり、話し合いの経過を捉えたりすることができるよう指導することが大切である。

小学校 算数 [4年] 【2】(4)

② かいとさんたちは、水を大切に使用しているかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。

(4) かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのが気になる、洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

【かいとさんが考えた式】

$$6 + 0.5 \times 2 = \text{㊦}$$



【かいとさんが考えた式】の㊦に入る数を書きましよう。

四則の混合した式の計算に課題がある。計算の決まりを単に暗記するだけではなく、具体的な場面と関連付けて、左から計算した場合と計算の順序についての決まりを基に正しく計算した場合とを比較することで、計算の順序によって式の意味が異なることに気付けるように指導することが大切である。

中学校 数学 [2年] 【6】(2)

⑥ 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめました。

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円



$$(\text{総費用}) = (\text{本体価格}) + (1 \text{ 年間あたりの電気代}) \times (\text{使用年数})$$

(2) 下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

ア、イを選択しているが、説明の無解答の割合が高い。問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるよう指導することが大切である。

中学校 英語 [読むこと] 【7】

⑦ 中学生の一郎は、スミス先生 (Mr. Smith) と話しています。次の会話文中の () 内に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

一部省略

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[A few minutes later]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: ()

Ms. Smith: Right. That is the main point.

前後の対話を理解できていなかったり、手がかりとなる文がわからなかったりしている生徒が多い。日常的な話題や社会的な話題に関する説明などを読んで、最も大切な部分を読みとることができるよう指導することが大切である。

中学校 英語 [書くこと] 【10】

⑩ 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム (案内用図記号) のうち、どちらがよいかウェブサイト上で意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。



※ 図記号 [A] (「in」や「don't」など) は1語と数え、符号 (「、」や「?」など) は語数に含めません。

(例) No, I'm not. [3語]

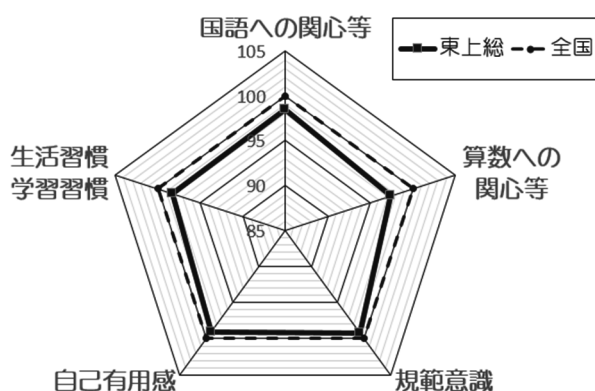
動詞の欠落などの誤りや25語以上書けていない解答が多い。与えられたテーマについて、まとまりのある文章を書くために、考えを整理し相手に正しく伝えるために、語や文法知識を正しく理解・活用して書き表すことができるよう指導することが大切である。

生活習慣や学習環境等について

*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

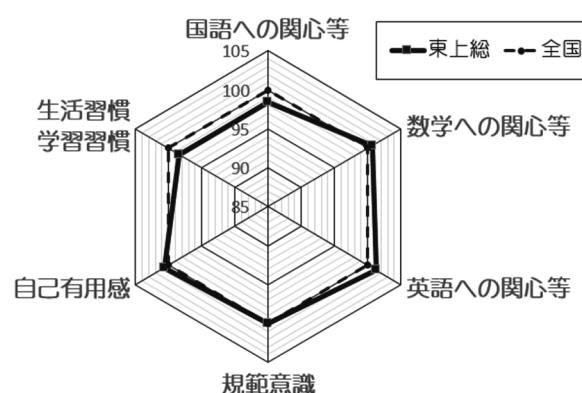
児童質問紙から

平成31年度



生徒質問紙から

平成31年度

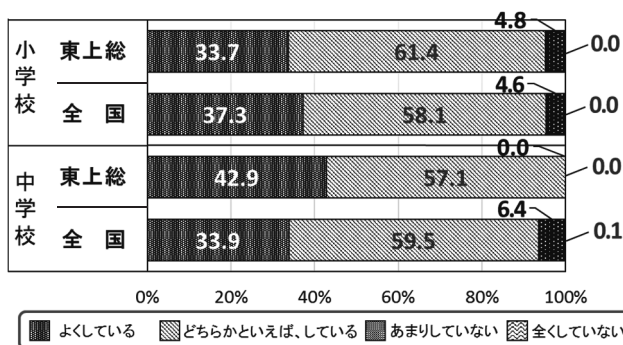


中学校での「数学への関心等」が全国に比べやや上回っている。「数学の授業内容はよく分かる」と回答した生徒は全国を上回っているが、解答を言葉や数、式を使って説明する問題について「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒が大きく下回っている。正答率とも併せて考えると、数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う活動の充実が求められる。

学校質問紙から 『指導改善サイクルの確立を目指して』

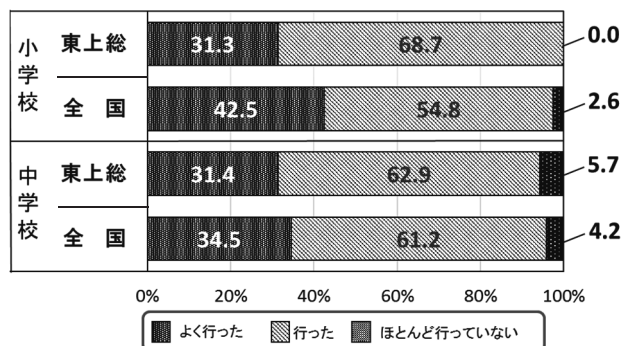
小17
中17

児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



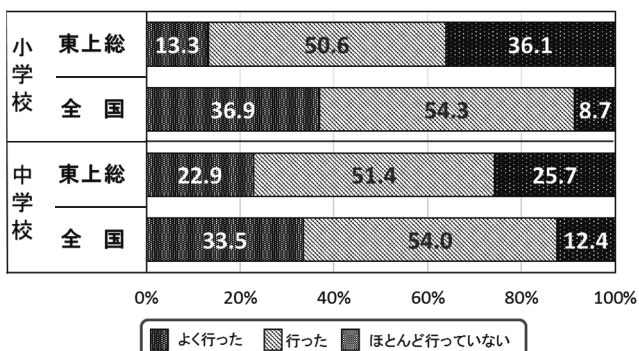
小63
中79

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



小64
中80

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)



- ・【小17・中17】の項目では、小・中学校ともに昨年度より肯定的な回答の割合が増えている。PDCAサイクルが意識され、学校評価アンケートや学校関係者評価等が活用されていると思われる。
- ・【小64・中80】の項目では、中学校で肯定的な回答が増えたが、全国と比べると小・中学校ともに、やや低い傾向にある。今後は、各教育委員会や中学校区単位等で、公表や説明における具体的な方向性を話し合う場を設けることで、促進が図られると思われる。

(5) 南房総地区

教科についての傾向と課題

* 例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。
 ○正答率が全国と比べて低いもの
 ○正答率そのものが低いもの
 * [] 内の学年は、学習学年を示している。

小学校・国語

「話すこと・聞くこと」領域での「相手の意図を捉える」「自分の意見をもつ」などに課題がある。図表やグラフ、複数の文章を関連付けて理解する問題の正答率が、全国や県に比べ、低い状況である。

- ・国語¹一 「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く」 [5、6年]
- ・国語¹四(1)ア 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 [5、6年]
- ・国語³二 「目的に応じて、質問を工夫する」 [5、6年]
- ・国語³三 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」 [5、6年]

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」領域での「自分の考えをもち」状況に合わせて「相手に伝わるように話す」ことに課題がある。複数の情報を整理して内容を捉える問題の正答率が、全国や県に比べ、低い状況である。

- ・国語¹一 「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」 [2年]
- ・国語¹二 「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」 [1年]
- ・国語²二 「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する」 [1年]
- ・国語²三 「話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」 [1年]

小学校・算数

「数量関係」領域での異なる情報を分類整理して特徴や傾向を読み取ることに課題がある。資料を活用し、分かりやすく表したり、読み取ったりする問題の正答率が、全国や県に比べ、低い状況である。

- ・算数²(3) 「資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる」 [3、5年]
- ・算数²(4) 「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする」 [4年]
- ・算数⁴(2) 「示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する」 [3年]
- ・算数⁴(3) 「場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる」 [5年]

中学校・数学

「関数」領域や「資料の活用」での表などから式を求めることに課題がある。具体的な事象から数量の関係を見出し、式に表したり、式の意味を読み取ったりするなどの問題の正答率が、全国や県に比べ、低い状況である。

- ・数学⁴ 「比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解する」 [1年]
- ・数学⁸(1) 「資料を整理した表から最頻値を読み取る」 [1年]
- ・数学⁹(1) 「与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉える」 [2年]
- ・数学⁹(2) 「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する」 [2年]

中学校・英語

「書くこと」領域での語や用法についての正しい理解が不十分である。語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く問題の正答率が、全国や県に比べ、低い状況である。

- ・英語⁹(1)② 「文の中で適切に接続詞を用いる」 [書くこと]
- ・英語⁹(2)② 「一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書く」 [書くこと]
- ・英語⁹(3)② 「与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く」 [書くこと]
- ・英語⁹(3)③ 「与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書く」 [書くこと]

課題が見られた設問の例

小学校 国語 [5・6年] 【3】二

相手の状況を捉えることができなかった児童が多い。『自分が知りたいこと』について、相手が答えられる言葉に変えてもう一度たずねる』のような、質問の工夫ができるように指導することが大切である。

思いや考えですか。
なかなか難しい質問
ですね。



大谷さん

- ③ 二「インタビュの様子」の「」で、岸さんは、―― 師のようにくふうして質問をしています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。
- 1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がくり返し答えた言葉を言いながら質問をしている
 - 2 相手に質問をする理由を理解してもらえらるよう、インタビュの目的を伝えるから質問をしている
 - 3 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている
 - 4 相手の話の中に分からない言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている

中学校 国語 [1年] 【2】三

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点検しているんで、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

山下さん 倉田さん 西野さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでいいと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていらないことがあります。

A

全国に比べ無解答が多い。また、話し合いの話題や方向を適切に捉えることに課題がある。必要に応じて話し合いの話題について確認したり、話し合いの経過を捉えたりすることができるよう指導することが重要である。

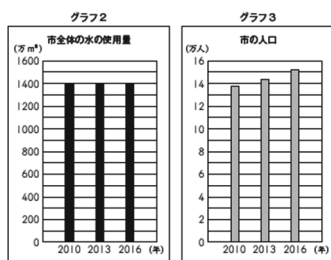
② 三 議題③の「A」で山下さんは、「どうするか決まっていらないこと」について自分の考えを述べようとしています。あたかも、どのような考えを述べようか、次の条件1と条件2と条件3とに基づいて、整理整頓するよう指導します。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていらないこと」とは具体的に何を指しているのかを整理し、書き出します。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていらないこと」を解決するための具体的な案をまとめるように指導します。

小学校 算数 [3年] 【2】(3)

(3) 次に、がいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと考え、グラフ2とグラフ3を見比べ、2つのグラフをもとに考えます。



- がいと 僕たちは、水を大切に使用しているといえるのでしょうか。
- ゆうか 市全体の水の使用量はわかりませんが、1人で水をどのくらい使っているかはわかりません。
- あやの グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

2つの棒グラフを関連付けることができていない児童が見られる。2つのデータを比較し共通することや違いを自分で見つける場を大切にしておくことで、複数の資料を関連付けて判断できるような指導を行うことが重要である。

中学校 数学 [2年] 【9】(2)

(2) 二人は、連続する4つの奇数や5つの奇数の和について考えていることにしました。若菜さんは、連続する5つの奇数には中央の奇数があることから、中央の奇数に着目して連続する5つの奇数の和について調べました。

$$1, 3, 5, 7, 9 \text{ のとき } 1+3+5+7+9=25=5 \times 5$$

$$3, 5, 7, 9, 11 \text{ のとき } 3+5+7+9+11=35=5 \times 7$$

若菜さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想2

連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍になる。

上の予想2がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成させなさい。

説明2

n を整数とすると、連続する5つの奇数は、 $2n+1, 2n+3, 2n+5, 2n+7, 2n+9$ と表される。それらの和は、

$$(2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7) + (2n+9)$$

$$=$$

無解答の生徒が多い。事柄が一般的に成り立つ理由を文字式や言葉を用いて、根拠を明らかにして説明できるように指導することが必要である。この設問の場合、結果の見通しをもたせることが大切である。

中学校 英語 [書くこと] 【9】(3)②③

⑨(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

動詞の活用形に誤りがある、問題の指示文を正しく理解できていないなど、基本的な語や文法事項等を理解していない生徒が多い。

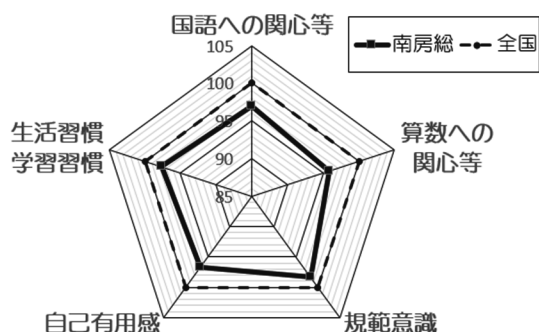
英語を聞かせたり読ませたりする量の確保に加えて設定した状況に合うやりとりを行うなど、「英語の運用を通じて言葉を習得させる」などの授業改善が求められる。

生活習慣や学習環境等について

*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

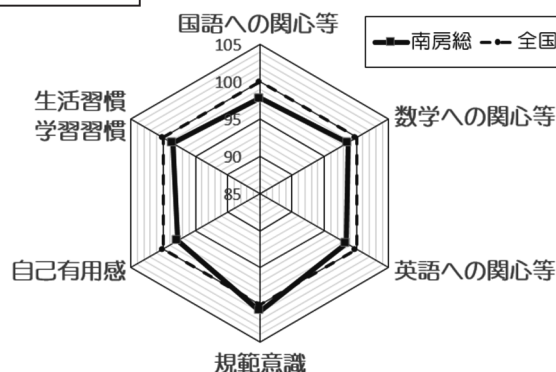
児童質問紙から

令和元年度



生徒質問紙から

令和元年度

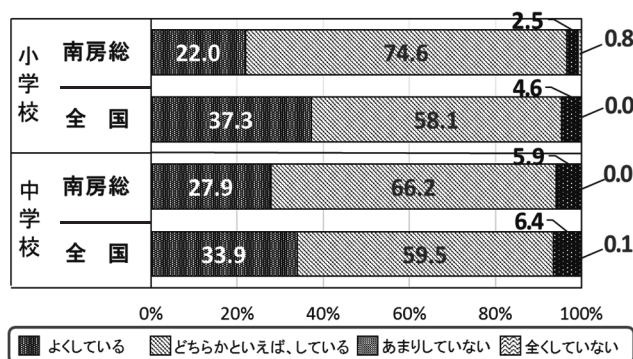


生徒の教科への関心や規範意識には改善の傾向が見られるものの、児童の教科への関心や自己有用感が全国に比べてやや低い傾向にある。学習に対する関心を高めるための工夫・改善が必要である。授業改善のために「児童生徒の実態把握」「実践モデルプログラムを生かした指導改善サイクルの確立」「優れた授業実践の相互参観」などの推進が必要である。

学校質問紙から『指導改善サイクルの確立を目指して』

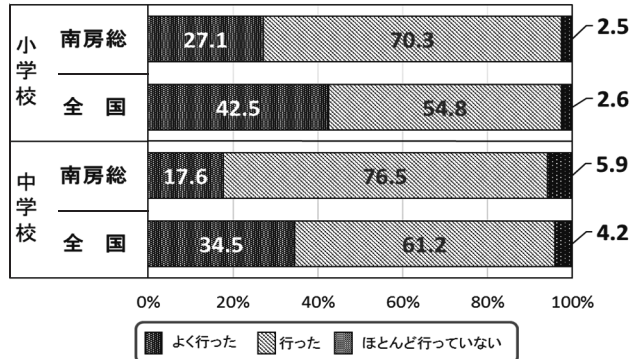
小17
中17

児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



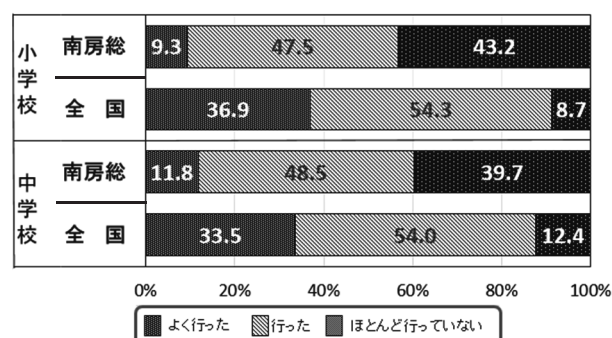
小63
中79

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



小64
中80

平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)



【小17中17】では各種データに基づき、指導改善サイクルを確立していることが読み取れるが【小63中79】では、全国と比較して状況調査の活用が十分でないことがわかる。その結果【小64中80】にもあるように、保護者や地域の人に対する公表や説明もすすまないという状況につながっている。

本調査が新学習指導要領で目指す指導改善につながるメッセージであることを踏まえて「何を学ばせるか」「どのように学ばせるか」を考える一助となることを啓発していく。保護者や地域の人から理解を得て、児童生徒の生活習慣や学習習慣、また自己有用感の向上につなげたい。

Ⅲ 結果の活用に向けて

- 2 新しい「思考し、表現する力」を
高める実践モデルプログラム
- 3 「学力・学習状況」検証事業
- 4 学力向上に役立つ情報

Ⅲ 結果の活用
に向けて

新しい

「思考し、表現する力」を高める 実践モデルプログラム

を活用しよう

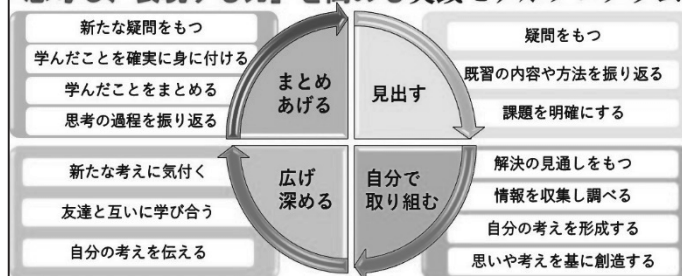
めざせ！
授業改善！



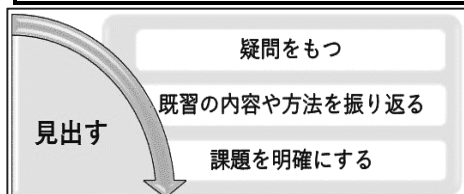
『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』を基に、各学習過程の発問例の一部を作成しました。

新学習指導要領がめざす、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、校内研修の場等で活用し、自校の実態にあった発問を考えてみましょう。

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



「見出す」…子供から引き出した疑問を、教師が整理し焦点化することで、課題が明確になります。



【こんな発問を考えてみましょう】

- 児童生徒の素直な疑問を引き出す。
 - 既習事項の共通点と相違点を明確にさせる。
 - 課題を明確にし、課題解決に向けた意欲をもたせる。
- など

「具体的な発問例」

学習していくことは何ですか。

どんな方法で考えましたか。

昨日はどんなことを発見しましたか。



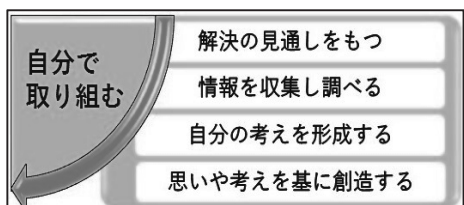
以前学習したことと、違いはどこですか。

不思議に思ったことや、
疑問に思ったことは何ですか。

みんなの疑問を整理しましょう。

○考えた発問を書いてみましょう

「自分で行き組む」…「見方・考え方」を働かせながら課題に取り組むことができるよう、課題解決の視点や方法を指導しましょう。



【こんな発問を考えてみましょう】

- 既習事項の何が使えるか、解決策を検討させる。
 - わかることと、わからないことを明確にさせる。
 - 机間指導を通して、児童生徒の学習状況に基づいた支援を行う。
- など

「具体的な発問例」

何について考えたらよさそうですか。

図や表、絵などは使えそうですか。

集めた情報について順序付けや
仲間分けをしてみましょう。



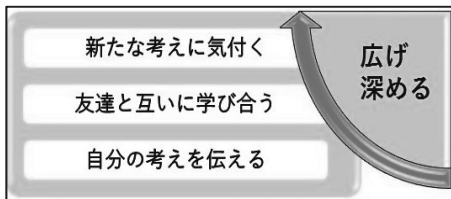
そのように考えた根拠は何ですか。

友達にもわかるように
自分の考えを書いてみましょう。

どこ（何）がわからないか、
できるところまで表してみましょう。

○考えた発問を書いてみましょう

「広げ深める」…「伝える」ことだけに主眼を置くのではなく、「聞く」ことの指導も行い、形式的な学び合いから実質的な学び合いを目指しましょう。



【こんな発問を考えてみましょう】

- 教師が「学び合い」の進行役になり、児童生徒の考えを広げる。
- 多様な考えを引き出し、友達の考えと自分の考えの違いに気付かせる。など

「具体的な発問例」

友達の考えを説明してみましょう。

友達の考えを聞いて初めて
知ったことはありますか。

もしも〇〇だったらどうなるでしょうか。



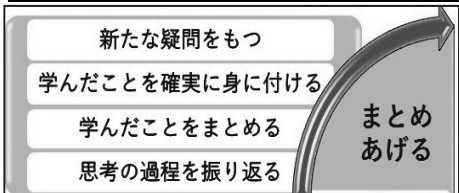
わからない友達にどんな
アドバイスができそうですか。

自分の考えと比べながら聞きましょう。

不思議に思ったことを
友達に聞いてみましょう。

○考えた発問を書いてみましょう

「まとめあげる」…子供の言葉でまとめの言葉を予想して準備したり、子供が自分の思考を振り返り、学習したことを自覚できるようにさせたりしましょう。



【こんな発問を考えてみましょう】

- 個々の考えから学級全体の考えにしていく。
- 学習したことを振り返り、自分の言葉でまとめさせる。
- 次時の学習とのつながりを意識させる。など

「具体的な発問例」

難しかったことは何ですか。

前回の学習とどこが違いますか。

似たような問題にも使えますか。



今日の学習を通じてどんなことが
わかりましたか。

今日の学習はどのように解決しましたか。

次の時間はどんな学習になりそうですか。

○考えた発問を書いてみましょう

重要

「実践モデルプログラム」は、毎時間その全てを行うことを推奨するものではありません。毎時間全てを行うと、かえって形式的な授業となってしまう可能性があります。1単位時間で行う場合もあれば、複数時間で行う場合もあり、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した上で行います。

大切なことは、単元計画や授業計画に意図的・計画的に「見出す」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」を位置付けることです。

「学力・学習状況」検証事業

○「学力・学習状況」検証事業について

本事業は、児童生徒の学力向上を目的として、協力校が自校の学力・学習状況調査結果の把握及び分析を行い、継続的な検証改善サイクル（PDCAサイクル）を確立するとともに、成果の普及を行うものです。

令和元年度から新たに県内 15 校を検証協力校に指定し、授業改善を主とした取組を実践しています。本ページでは、検証校の取組の一部を紹介します。

【小学校(7校)】

八千代市立南高津小学校、流山市立流山北小学校、香取市立栗源小学校、旭市立干潟小学校、大網白里市立瑞穂小学校、鴨川市立西条小学校、木更津市立真舟小学校

【中学校(8校)】

八千代市立八千代台西中学校、八千代市立村上東中学校、柏市立西原中学校、我孫子市立白山中学校、八街市立八街中央中学校、茂原市立茂原中学校、いすみ市立岬中学校、市原市立千種中学校

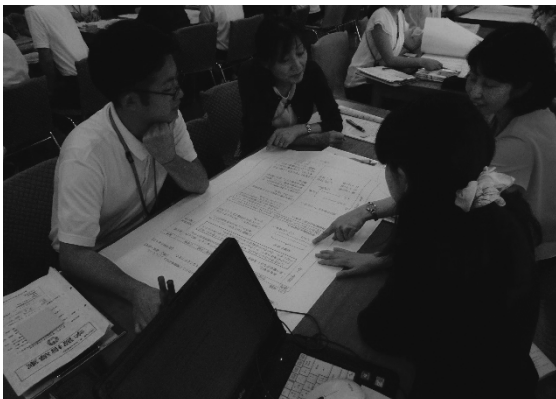
～検証協力校の取組事例～

取組事例①【流山市立流山北小学校】

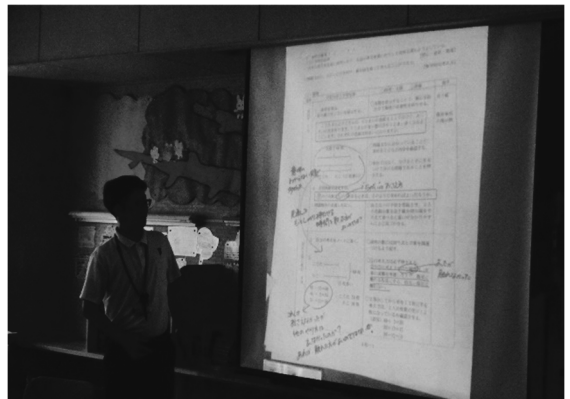
「授業づくり」と「校内研究の実施方法」を改善しています

【参考にしたい取組】

- 指導案作成にあたり、これまでの全国学力・学習状況調査問題を活用し、千葉県や全国の解答状況に対する児童の強みや弱みを把握している。
- 全職員が研究協議に参加できるように、指導案検討会等の協議方法を工夫している。
- 協議会に ICT を活用し、先生方一人一人の考えを共有できるように工夫している。



協議会を小グループで行い、全職員が意見を言えるようにしています。また、グループ編成を学年ごとにするすることで、本時の学習と自学年との関連や指導方法を検討することができます。



ICT を使用することで、協議結果を全体で共有することが可能になります。ICT は、日頃の授業に限らず研修会等様々な場面で有効に活用できます。

校長のリーダーシップの下、授業改善を進めています

【参考にしたい取組】

- 調査実施日に、生徒の解答状況を記録し自校採点を行っている。また、調査実施後、表計算ソフトを使い生徒の学力状況をグラフ化し、学校全体の傾向を把握している。年度初めから生徒の実態に即した授業改善策を立案し、実行している。
- 校長が教科部会(数学科)に入り、全国学力・学習状況調査の結果の採点や分析などに取り組んでいる。また、校長が教科部会の中心になり、若手教員に対して指導・助言を行うなど、授業力向上を目指している。

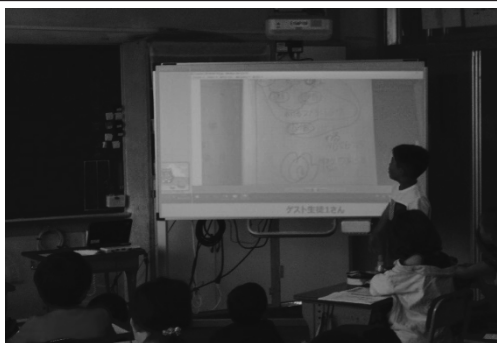


校長が教科部会の進行役になり、授業改善の方針や日頃の指導法に対する指導助言を積極的に行っています。

近隣校の先生方と研究の成果を共有しながら、研究を進めています

【参考にしたい取組】

- 児童の興味・関心を引き出すために ICT を有効に活用した授業づくりを実践している。
- 自校の取組を近隣の学校に広めるため学校公開日に授業研究を行うこととした。また近隣校の先生方にも協議会に参加していただき、その意見を参考にしながら自校の研究を進めている。



ICT を活用することで、発表者の説明を補助することができますとともに、聞き手の意識を注目させることができます。



近隣校職員の客観的な意見を取り入れることで、自校の研究を見直すことができます。また、成果や課題を地域で共有するという点でも有効です。

授業改善を積極的に取り入れる学校の姿

- 管理職・教務主任・研究主任の強いリーダーシップがある。
- 教職員の指導力向上に対する意欲が高い。また、授業改善を自校の喫緊の課題として捉えている。
- 全国学力・学習状況調査の結果を、調査対象学年だけで捉えるのではなく、学校全体の結果として捉えている。
- 課題設問ごとに分析を行い、児童生徒の学習状況を詳細に分析している。特に無解答率に重点を置き、分析をすすめている。

継続的な検証改善サイクル（PDCA サイクル）を確立するためのヒント

- 「P」の段階…結果分析→課題→原因→原因解消のための具体策→計画決定
- 「D」の段階…学校全体で具体策を共有し、教職員が連携を図り、継続的に行う。
- 「C」の段階…様々な調査・資料を活用し、検証する。
 - * 全国学力・学習状況調査
 - * 児童・生徒アンケートや保護者アンケート
- 「A」の段階…「C」の結果によっては、具体策の検討、修正を行う。
- 4つの段階が形骸化しないように注意する。
 - * 年間で行うPDCAサイクルの他、プロジェクトの内容によっては、短期で実践可能なものもある。
 - * 「C」の段階で、具体的に行う。

学力向上に向けての指導改善サイクル

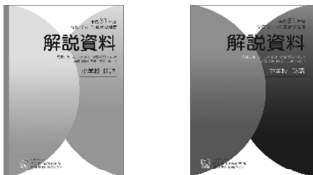
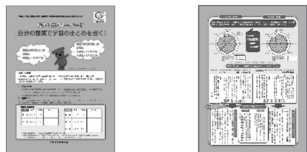
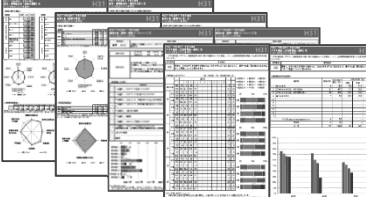
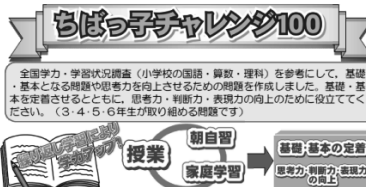


千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」

全国学力・学習状況調査の目的は、「児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことです。全国学力・学習状況調査を通して、先生方の指導力向上、ひいては、ちばっ子の学力向上を目指して組織的に取り組んでいきましょう。

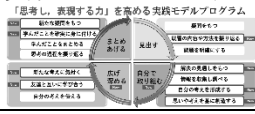
4 学力向上に役立つ情報

(1) 千葉県総合教育センターWebサイト からアクセスできる情報

千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成31年度 全国学力・学習状況調査 に関わるWebページ紹介 【国立教育政策研究所】へのリンク	平成31年度全国学力・学習状況調査 解説資料 	調査実施後、教育委員会や学校が速やかに設問の概要や解答類型からみられる課題等を把握し、指導の改善・充実に取り組むための資料。 ▶5月に教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校国語、算数、中学校国語、数学、英語
千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成31年度 【分析ツール】 【速報版リーフレット】	平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について (速報版リーフレット) 	千葉県の児童生徒の調査結果をまとめ、10月に速報版としてリーフレットを学校に配付。 ▶11月を中心に県内8会場で実施される「学力向上交流会」でも配布。 (さらに詳細に分析したのが本報告書)
千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成31年度 全国学力・学習状況調査 に関わるWebページ紹介 【千葉県教育委員会】へのリンク	授業アイディア例 	調査結果を踏まえ、学校が授業の改善・充実を図る上で参考となる授業展開の一例。 ▶教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校(国語・算数)、中学校(国語・数学・英語)
千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成31年度 全国学力・学習状況調査 に関わるWebページ紹介 【千葉県教育委員会】へのリンク	分析ツール 	市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析を支援するためのデータ処理ソフト。「結果の概要」「結果の推移」「誤答分析」「教科・質問紙クロス集計」の各種シートを作成できる。(83ページ参照)
千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成31年度 全国学力・学習状況調査 に関わるWebページ紹介 【千葉県教育委員会】へのリンク	学びの突破口ガイド 	小学校の国語、算数、理科について、児童がつまづきやすい内容を中心に、効果的な指導方法等をまとめた指導用冊子。ワークシートとして活用できる児童用の冊子(高学年版・中学年版・低学年版)とともに配付。活用事例も紹介されている。
	ちばっ子チャレンジ100 (児童) 	全国学力・学習状況調査(小学校の国語・算数・理科)を参考にして作成した、基礎・基本となる問題や思考力を高める問題。授業、朝自習、家庭学習資料として幅広く活用できる。 ▶小学校1～6年

	「ちばのやる気」学習ガイド (生徒) 	学習内容への見通しを持たせ、学習意欲を高めさせる教材。習熟の程度に応じて取り組むことができる。 ▶中学校各学年版を学校に配付。 ▶改訂版（国語・数学・英語）を令和2年度にWebサイトにて配信予定。
千葉県総合教育センター →カリキュラムサポート室 →ガイドブック等ダウンロード	授業づくりガイドブック(改訂版) 	「授業企画」「授業展開力」「実態把握力」「授業改善力」の4つの力を伸ばす方策を、具体的にわかりやすく示している。これらの力を総合的に向上させることで児童生徒の確かな学力の定着を図る。

(2) 千葉県教育委員会Webサイト からアクセスできる情報

千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →「思考し、表現する力」 を高める実践モデル プログラムの活用促進	「思考し、表現する力」を高める 実践モデルプログラム 	児童生徒が意欲的に取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりのために開発されたモデルプログラム。指導事例（小・中学校の各教科・領域）も掲載。
→学校教育 →学力向上 →「学力・学習状況」 検証事業	「学力・学習状況」検証事業 	児童・生徒の学力向上を目的として、全国学力・学習状況調査の結果等をもとに、協力校が自校の学力・学習状況調査の把握及び分析を行い、課題解決に向けた取組を行う。
→学校教育 →学力向上 →Act.3子どもいきいき 「授業力アップ」プラン →・ちば「授業練磨の公開日」 ・学力向上交流会	「ちばっ子の学び変革」推進事業 	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。また、関係機関の協力を得ながら研究指定校の授業実践研究を進めるとともに、教員の授業力向上を図る。
	ちば「授業練磨の公開日」 	県内全ての公立学校で授業公開を実施することで、教員が異校種を含めた他校の優れた授業を見合う機会とし、授業力向上を図る。 ▶11月の「学力向上月間」を中心に実施。
	学力向上交流会 	ちばっ子「学力向上」総合プランをテーマに意見交換会を行ったり、「魅力ある授業づくりの達人」などの優れた授業実践や研究推進校における成果などを伝えたり、協議したりする場。 ▶11月を中心に実施。
→学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢・チャレンジ」サポートプラン →・千葉県学習サポーター派遣事業の充実事業 ・「家庭学習のすすめ」サイトの活用促進	学習サポーター派遣事業 	児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図るため小・中学校に退職教員等を派遣し、放課後の補習等による学習支援、少人数指導や習熟度別指導などの授業支援等を行う。 ▶県下で190名の学習サポーターを派遣。
	「家庭学習のすすめ」サイト 	学習習慣の定着や家庭学習への理解の促進を図るために、保護者向けリーフレットや、児童生徒向け学習プリント、手引きモデル例を配信。 ▶児童、保護者及び小中学校教員向け。
→学校教育 →学力向上 →Act.1興味ワクワク「読書体験学習」チャレンジプラン →・確かな学びの早道「読書」事業の推進	確かな学びの早道「読書」事業 	学校図書館の活用による児童生徒の学習意欲の向上を目指し、実践協力校による学校図書館を有効に活用した学習事例を「実践記録集」としてまとめ、県内各校に提供するなど、読書活動の一層の推進を図っている。